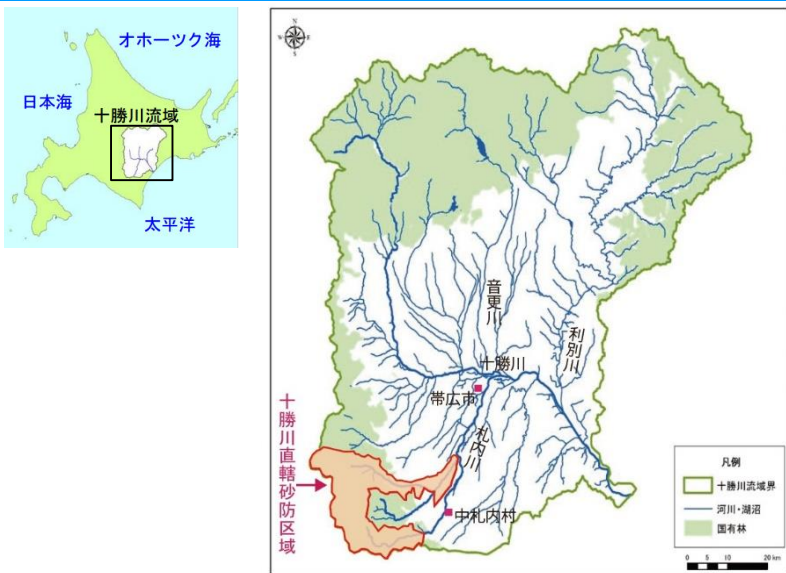


キャンプ砂防2024 inおびひろ

2024
9/9 ▶ 9/13

～国内有数の穀倉地帯・十勝平野における水系砂防事業と火山噴火への危機管理対応を学ぶ～

帯広開発建設部 帯広河川事務所では、十勝岳に源を発する十勝川の一大支川・札内川流域において、昭和47年から直轄砂防事業を実施しています。



北海道開発局 帯広開発建設部
帯広河川事務所

砂防堰堤や床固工等の整備を行うことで、下流の平野部に広がる市街地や、国内有数の穀倉地帯、発電や水道といったライフラインや地域の経済基盤となる産業を維持するための重要交通網等を保全します。



札内川上流域は、日高造山運動の影響を受けた風化しやすい地質で、度重なる災害により膨大な不安定土砂が堆積しています。

▼大量の不安定土砂が札内川から十勝川本川へ流出している



▲札内川・戸蔭別川合流点の堤防決壊状況 (H28年8月洪水)



下流に広がるとかちの市街地

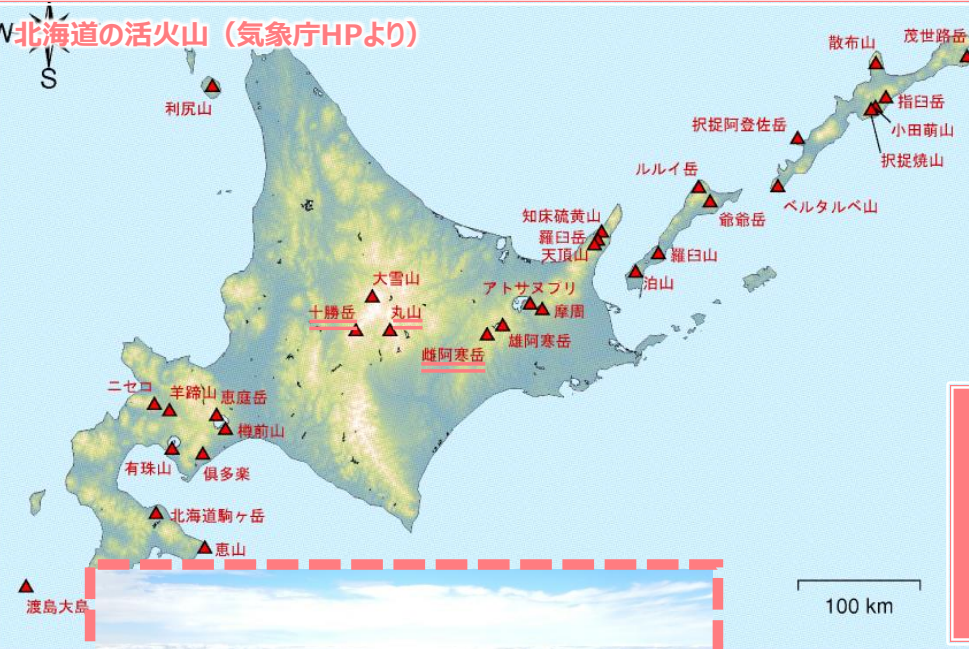
キャンプ砂防2024 inおびひろ

2024
9/9 ▶ 9/13

～国内有数の穀倉地帯・十勝平野における水系砂防事業と火山噴火への危機管理対応を学ぶ～

帯広開発建設部管内は、十勝岳・丸山・雌阿寒岳の3つの活火山に面しています。そのうち十勝岳と雌阿寒岳は、「火山防災のために監視・観測体制の充実等の必要がある火山」に選定され、関係機関による火山防災協議会が設置され、噴火警戒レベルや避難計画を策定しています。帯広開発建設部では、平常時から火山噴火に対する体制整備に努めるとともに、関係機関と連携し火山噴火を想定した対応行動を検討しています。

北海道開発局 帯広開発建設部
帯広河川事務所



火山噴火に起因する大規模な土砂災害（土石流）の発生が急迫している状況においては、土砂災害防止法に基づき、国土交通省が緊急調査を実施し、土砂災害緊急情報を周知します。

緊急調査では、降灰量および浸透能を現地調査し、被害範囲推定のための土砂流況解析を行います。調査結果を基に、土砂災害が想定される土地の区域及び時期を明らかにした情報（土砂災害緊急情報）をとりまとめ、市町村等による避難勧告等の判断を支援するための情報提供や一般への周知を行います。



キャンプ砂防2024 inおびひろ

2024
9/9 ▶ 9/13

～国内有数の穀倉地帯・十勝平野における水系砂防事業と火山噴火への危機管理対応を学ぶ～

実施内容（予定）

- 十勝川直轄砂防事業の紹介
- 管内各種事業や地域の特徴の紹介
- 十勝地方の自然や大地の成り立ちと産業を学ぶ
- 管内の河川・砂防施設見学
- 砂防施設点検（UAV操作体験）
- 火山噴火に対する危機管理体制を学ぶ（阿寒湖温泉白湯山登山）
- 緊急調査や災害時の対応を学ぶ

